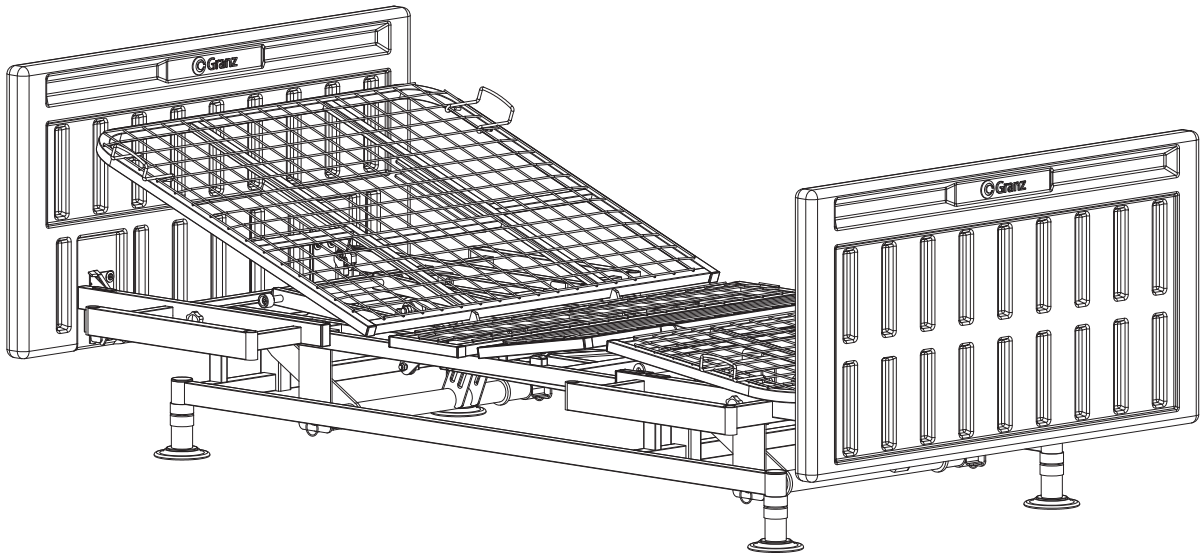


介護保険レンタル対応 在宅介護用電動ベッド

取扱説明書

レンクル
Rencle

保管用



●昇降2モーターベッド PA-9551

このたびは、在宅介護用電動ベッド「レンクル」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用いただきますようお願いいたします。

- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 改良などによりこの「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この「取扱説明書」も一緒にお渡してください。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

【販売店または、専門業者の方へのお願い】

この「取扱説明書」は必ず療養される方か介護される方へお渡してください。

使用目的・特長

- このベッドはご使用される方の動作を助けること、介護する方の負担を軽くすることを目的として作られたベッドです。
次のような特長があります。



背あげのとき、脚も連動してあがるので、身体のスレが少なくなります。



ベッドからの起きあがりに役立ちます。
ベッドのうえでの食事、読書などに便利です。



立ちあがりのとき、ベッドの座面を適度な高さへ調節することで、腰やひざにかかる負担をおさえることができます。



ヘッドボトムをスウェー(可動)させることにより、背あげ中に起きる背圧を軽減し、背あげ中の姿勢をしっかり保持します。

- つたい歩きをサポートするヘッドボード、フットボード形状
ヘッドボード、フットボードの高さを同じにすることで、つたい歩きがしやすくなります。
- ヘッドボード、フットボードの取りはずしが可能
シーツ交換、身体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。

もくじ

■ 使用目的・特長	1
■ もくじ	2
■ 安全上のご注意	3～5
■ 各部のなまえ	6
■ 手元スイッチの使いかた	7
■ 定期点検とお手入れ	8
■ 故障かな？と思ったら	9
■ 手動での背さげ（停電、故障時）	10
■ ベッドの設置について	11
■ ベッドの移動について	12
■ 開梱と部品の確認	13、14
■ 組立手順	15～24
■ 組立後の点検	25
■ 分解手順	26
■ 仕様/適合周辺機器	27
■ サイドレール、ベッド用グリップの組み合わせ	28
■ 保証とアフターサービス	29
■ 保証書	裏表紙

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただくため、また、ご利用者様や他の人々へ危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。



警告

人が生命にかかわるけがまたは重傷を負う可能性が想定される内容



注意

人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

絵表示
の例：



記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。



記号は、**禁止**の行為を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告



必ず守る

- 治療中の方やペースメーカーをご使用の方は、医師に相談の上お使いください。
お使いになる方の症状により、ベッドの背あげによって症状を悪化させるおそれがあります。
- 電源プラグは根元まで確実に差しこんでください。
- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと感電や発熱による火災のおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
守らないと感電やショートして発火の原因となります。
- 動かない場合や、異常を感じたときはただちに使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼してください。
守らないと感電や発火の原因となります。



禁止

- ベッドの下にもぐりこんだり、動く部分に頭、脚、腕などを入れないでください。
- サイドレールなどから頭や手、脚を通したままベッドを動作させないでください。
- ヘッドボトムが水平でない状態ではその上に腰かけないでください。
- 手元スイッチ(リモコン)やモーター部には水などをこぼさないでください。
感電やショート、発火のおそれがあります。

 禁止	●電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、はさみこんだりしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電のおそれがあります。 ●電源コードや電源プラグがいたんだり熱くなったり、コンセントの差しこみがゆるいときは使用しないでください。 感電やショート、発火のおそれがあります。 ●絶対に分解したり、修理・改造はおこなわないでください。 発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。 ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。 ●長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 抜かないと絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。 ●ベッドの近くでストーブなどの熱器具は使用しないでください。 守らないと変質・変形・火災の原因となります。 ●2人以上で使用しないでください。このベッドは1人用です。 2人以上で使用するとベッドが破損してけがをするおそれがあります。 一時的に介護の方が乗る必要がある場合、ベッドに乗る方の合計体重が138Kgを超えないことを確認してください。 ●安全使用荷重1700N(174kg)をこえないでください。 安全使用荷重とは使用者体重とマットレス、サイドレール、ベッド用グリップなどのベッドに取り付けるものを全て合わせた重さで、1700N(174Kg)をこえるとベッドが破損してけがをするおそれがあります。 ●ベッドが新しいうちは、素材のにおいが気になる場合があります。そのときは、お部屋の換気を十分おこなってください。
---	---

 注意	
 必ず守る	●操作するときは必ず周囲に人やペットなどがいないことを確認してください。 ●手元スイッチが誤って押されないように注意してください。 ●必ずベッドの頭側に頭がくるようにして使用してください。 ●うつ伏せや、横向きに寝た状態で、背あげはしないでください。 守らないと事故やけがの原因となります。 ●サイドレールやベッド用グリップを差し込む穴に、指やものを入れないでください。
 禁止	●ベッドの上で遊ぶ、ベッドの上で飛びはねるなど介護用ベッドの用途以外では使用しないでください。 ●取扱説明書の内容が理解できない方が操作するおそれのある場合は、必ず電源プラグを抜き、必要なとき以外は動作させないでください。 ●マットレスなしでは使用しないでください。守らないと事故やけがの原因となります。 ●ベッドに貼られているシールは、はがさないでください。 ご使用のときの注意および製造番号の表示がされており、はがしてしまうと故障時に的確な対応ができなくなるおそれがあります。

警告

●手元スイッチ操作中は、ベッドのフレームとボトムの間などに手(指)や脚などを入れないでください。

→さがってきたボトムとベッドのフレームやボードなどの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

●身体の一部がすき間に入った状態で、手元スイッチの操作をしないでください。

→すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

→特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

●ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください。

→身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。

→特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

●ベッドに直接取り付けて使用するサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスなどは弊社が指定する適合品をお使いください。

→指定以外の製品や他社製品と組み合わせると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障するおそれがあります。
(28ページ「適合周辺機器」参照。)

警告

●以下のすき間に注意してください。

→ベッドやサイドレール、ベッド用グリップなどにはすき間があります。さらに、サイドレールやベッド用グリップなどをベッドに組み合わせるとすき間ができます。これらのすき間に、身体の一部(特に頭や首など)がはさまれてけがをするおそれがあります。
下記の項目に注意してください。

→特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

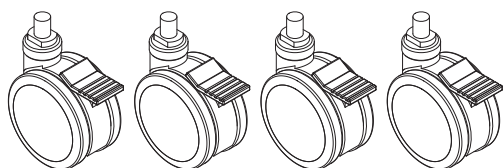
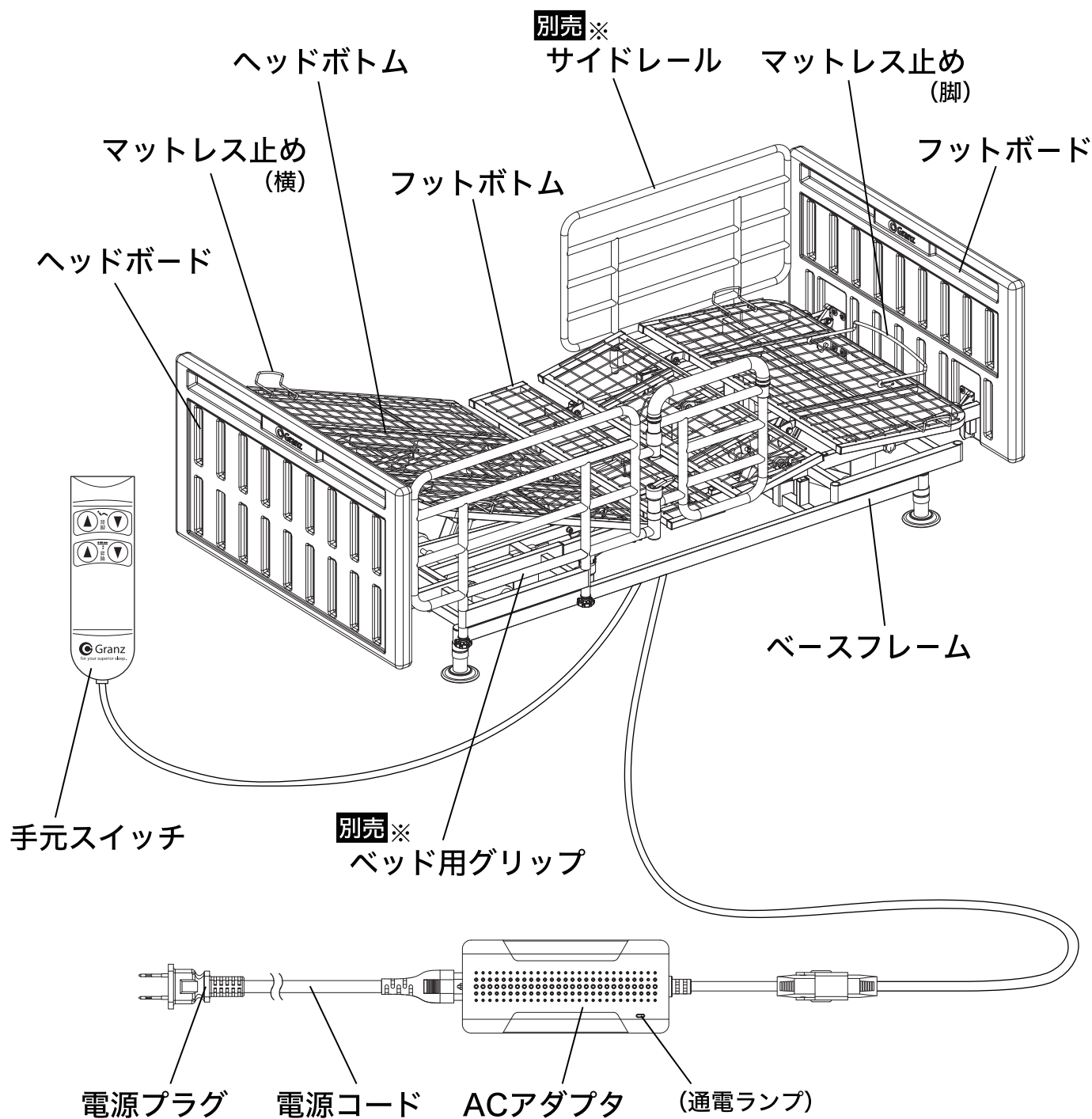
- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| ①サイドレールなどの内部のすき間 | ⑤サイドレールなどとボトム、マットレスのすき間(幅方向) |
| ②2本のサイドレールなどの間のすき間 | ⑥ボードとマットレスのすき間 |
| ③サイドレールなどとボードのすき間 | ⑦あがっているボトムとボード、サイドレールなどのすき間 |
| ④サイドレールなどとボトム、マットレスのすき間(高さ方向) | ⑧ヘッドボード、フットボードとボトムのすき間 |

●サイドレールなどの突起物に衣類などがからまないように注意してください。

→衣類などがからまった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っばられるなどして、けがをするおそれがあります。

→ベッドの乗り降りなどの際に転倒して、けがをするおそれがあります。

各部のなまえ



別売※
キャスター (ストッパー付き4個/1セット)
 取り付けておくとベッドの移動が簡単です。
 (キャスター取付時は脚座をはずしてください。)

※別売品に関しては、27ページの「適合周辺機器」をお読みください。

手元スイッチの使いかた



注意



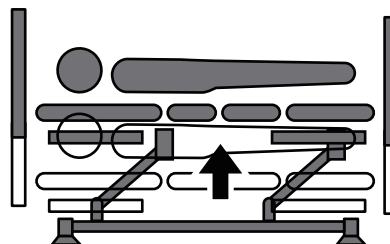
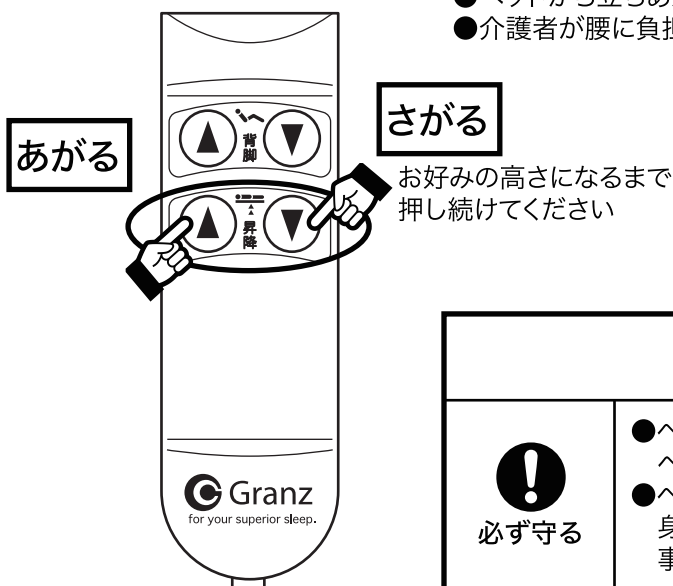
禁止

- 必ず組立後の点検をおこなってからご使用ください。
- 2分以上の連続使用はおこなわないでください。
故障の原因となるおそれがあります。



高さをあげる・さげる

- 床からボトムの高さを無段階に調節できます。
- ベッドから立ちあがったり、車いすなどに移乗するときに使います。
- 介護者が腰に負担の少ない姿勢で使えます。



警告



必ず守る

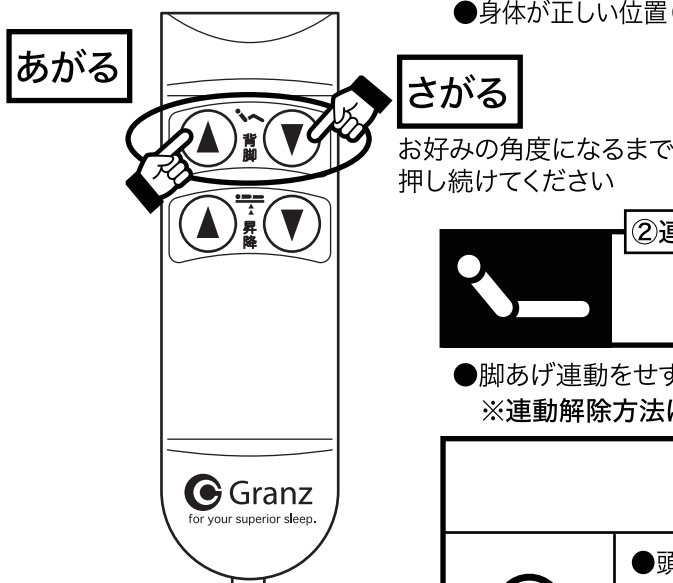
- ベッドをあげ・さげするときは必ずベッドの下などに人やペットがいないことを確認してください。
- ベッドをあげるときには必ずベッド上のテーブルなどに身体がはさまれないようご注意ください。
事故やけがのおそれがあります。

①初期(出荷時)設定



背と脚を連動してあげる・さげる

- 背あげ時に身体のスレを防ぐために、背あげ動作+脚さげ動作になります。
- 食事やテレビなどを見るときに使ったり、起き上がるときに使ってください。
- 身体が正しい位置(ヘッドボトムの曲がる位置)に腰があることを確認してください。



②連動解除※後



背をあげる・さげる

- 脚あげ連動をせずに背だけをあげ・さげしたい場合に使用します。
※連動解除方法は、20ページの「背・脚連動の解除」をお読みください。



警告



禁止

- 頭、脚、腕などをサイドレールなどから出したままで使用しないでください。
- 身体がうつ伏せや横向き状態で背をあげないでください。
- 背や脚をあげるときには必ずベッド上のテーブルなどに身体がはさまれることのないようご注意ください。

定期点検とお手入れ

定期点検

- 安全にご使用いただくために、1ヶ月に1回は定期的に点検してください。
ご使用の回数や環境などにより、製品は摩耗・劣化が進みます。
定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。
※点検項目は25ページ「組立後の点検」をお読みください。
- 異常が認められた場合やくわしい点検をご希望されるときは、販売店へご連絡ください。

お手入れ

マットレス

マットレスの取扱説明書
をお読みください。

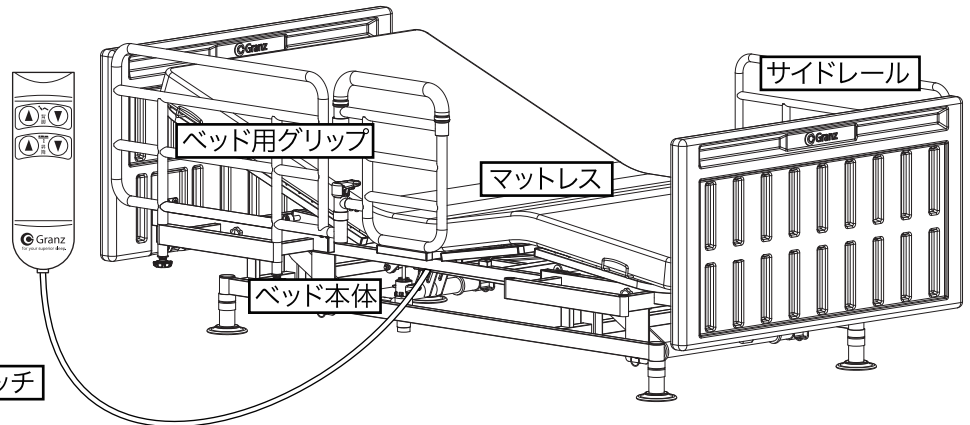
手元スイッチ

ベッド本体

サイドレール

ベッド用グリップ

手元スイッチ



●汚れを落とすとき

以下①～③の手順でおこなってください。

- ①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼってふきます。
- ②水でひたした布をよくしぼって洗剤分をふきとります。
- ③乾いた布で残った水分を十分ふきとり、水分を残さないようにします。

●消毒するとき

以下の消毒剤を指定の濃度または消毒剤の取扱説明書にもとづきご使用ください。

・消毒用エタノール ・オスバン ・ハイアミン ・ヒビデン ・ミルトン

※オゾン殺菌器、オートクレープ滅菌器などには対応していません。

⚠ 警告

- お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

→抜かないと感電のおそれがあります。

- ベッドに水をかけて掃除しないでください。

→ショートのおそれがあります。

⚠ 注意

- シンナー、ベンジン、ガソリン、クレゾールは使用しないでください。

→変色・変質のおそれがあります。

- 消毒剤は指定以外の薬品を使用しないでください。

→破損・変質のおそれがあります。

- 中性洗剤のふき残しがないようにしてください。

→変色や樹脂の部分が割れるおそれがあります。

- ベッドのお手入れの際はベッドの突起部分でけがをしないように注意してください。

故障かな？と思ったら

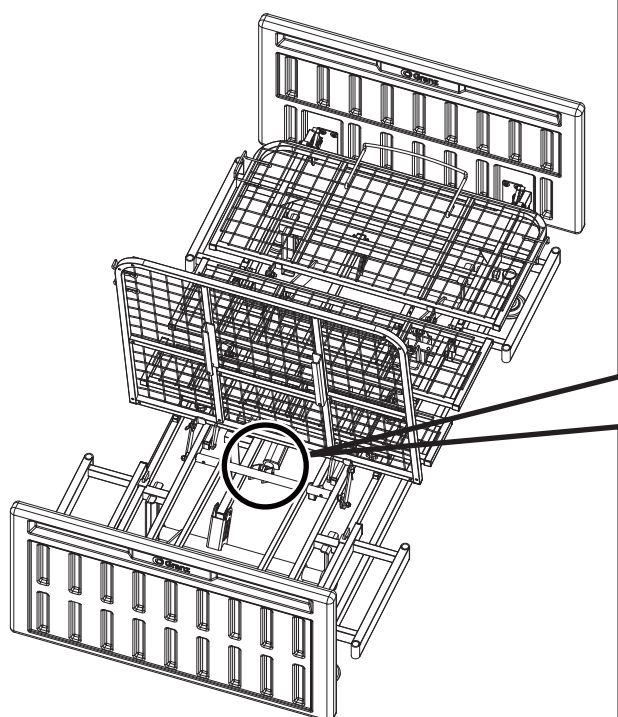
- 故障ではない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度以下の項目を確認してください。
- 確認・処理をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。
- 以下の症状により、電動で背さげができない場合は、手動で背さげをおこなってください。（次ページをお読みください。）
- 地震、火災、水害などで被災したベッドは、販売店に点検修理をご要望ください。電装品のショートや漏電による感電、火災、ベッドの変形による動作異常により、けがをする可能性があります。

症状	確認	処置
動かない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセント(AC100V)に差しこんでください。
	電源プラグが破損していませんか？	販売店にご相談ください。
	手元スイッチのコードが抜けていませんか？	手元スイッチのコードを差しこんでください。
	ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを確認してください。
	コンセントに電流はきていますか？	コンセントに他の電気器機のプラグを差しこんで確認してください。
	長時間連続で操作していませんか？ (モーターが過熱すると保護機能が働き、動作が停止する場合があります。)	モーターの過熱防止のため、20～30分してから操作してください。
十分な、角度まで動作しない	動くところに何かはさまっていませんか？	はさまっているものを取りのぞいてください。
サイドレール、ベッド用グリップがぐらつく	しっかりと差しこまれていますか？ ベッド用グリップの固定ねじはしっかりとしまっていますか？	しっかりと差しこみ、ベッド用グリップは固定ねじを確実にしめてください。

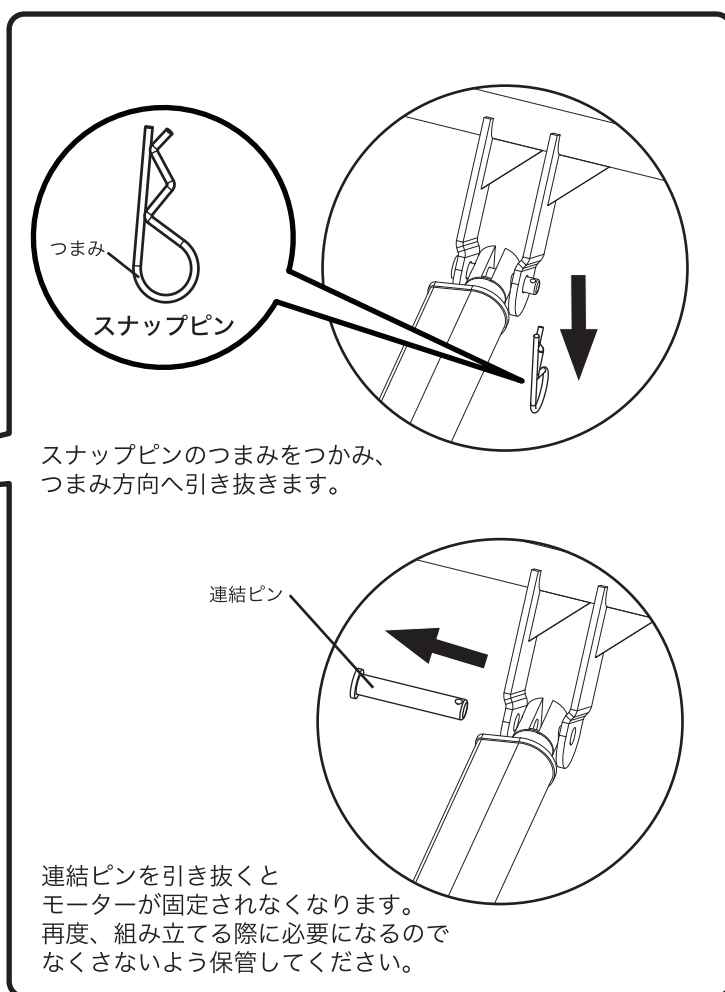
手動での背さげ（停電、故障時）

停電時や故障により、ヘッドボトムが下げられなくなった場合、以下の手順により手動でさげることができます。

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②寝具、マットレスをベッドからおろしてください。
作業の支障となるサイドレールまたはベッド用グリップがあるときは取りはずしてください。
- ③作業は2人でおこない、1人の方がヘッドボトムとモーターをしっかりと手で持って固定します。
- ④もう1人の方がヘッドボトムとモーターを連結している連結ピンからスナップピンを取りはずした後に連結ピンを引き抜きます。（下図参照。）
連結ピンが引き抜かれるとヘッドボトムとモーターが固定されなくなりますので、ヘッドボトムとモーターを手で持ってゆっくりとさげてください。



- ⑤もとに戻すときはヘッドボトムとモーターの位置を合わせ、連結ピンを差しこんだ後にスナップピンを差しこんでください。



 注意	 必ず守る	●作業は2人以上でおこなってください。 1人でおこなうと手や腕をはさまれ、けがをするおそれがあります。 ●スナップピンを抜くときに指などに刺されないように注意してください。 また、はずしたスナップピンと連結ピンはなくさないよう保管してください。
	 禁止	●この作業をおこなったときは復帰後もとに戻すまで電源プラグをコンセントから抜いたままにしてください。

ベッドの設置について

●ベッドを設置するときは以下の項目に注意してください。

一度組立ててしまいますと、部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

⚠ 警告

●電源プラグの抜き差しができなくなる場所にはベッドを設置しないでください。

- ・ 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- ・ 誤操作により、けがをするおそれがあります。

●ベッドの電源は直接コンセントからとってください。

- ・ コンセントや延長コードの容量をこえる電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

⚠ 注意

●ベッド周辺の空間を確保してください。

- ・ ベッドを使用する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって必要な空間を確保してください。

→壁やものなどを傷つけるおそれがあります。

- ・ 介護する方がベッドまわりで介護するための空間をどれだけ必要か(シーツ交換だけか、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助などが必要かどうかによって、ベッドの周囲をどれだけあけるか)よくお考えください。

●故障の原因となりますので、次のような場所への設置はさけてください。

- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 冷暖房による冷気や暖気が直接あたる場所
- ・ 換気の悪い場所
- ・ 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- ・ 振動や衝撃のある場所
- ・ 高温、多湿、低温、乾燥した場所
- ・ 床が水平でない場所
- ・ ほこり、煙、塩分、イオウ分、腐食性物質などの多い場所

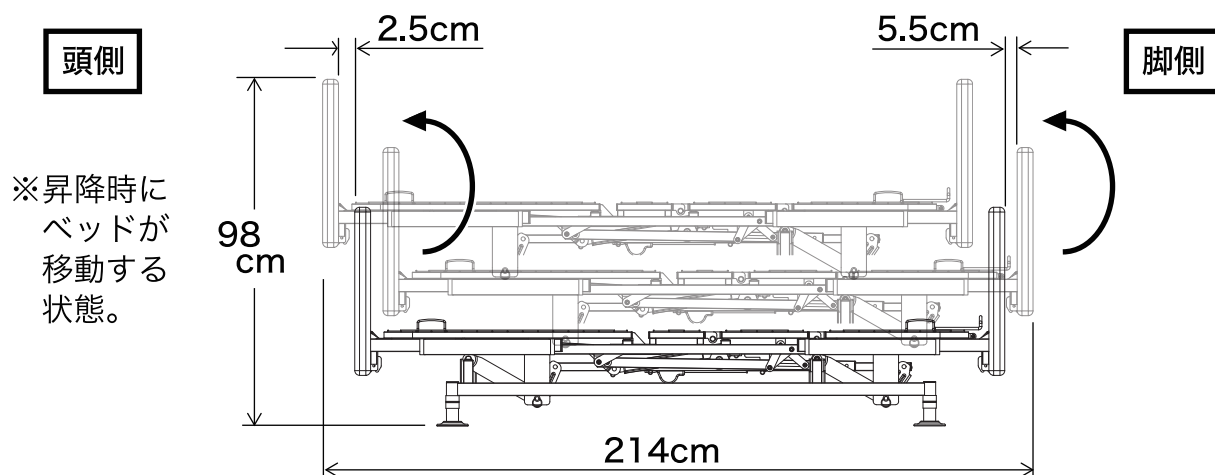
●ベッド使用時に床にかかる荷重に耐えられる場所に設置してください。

- ・ ベッドの質量約80kgに寝具やサイドレール、ベッド用グリップおよびベッドを使用する方の体重を加えた総質量がベッド使用時に床にかかる荷重となります。

この荷重に耐えられる場所に設置してください。→床が破損するおそれがあります。

●昇降時に下図の通り移動しますのでベッドまわりの家具備品、部屋の構造物の一部などにあたらないように注意してください。

- ・ 家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。



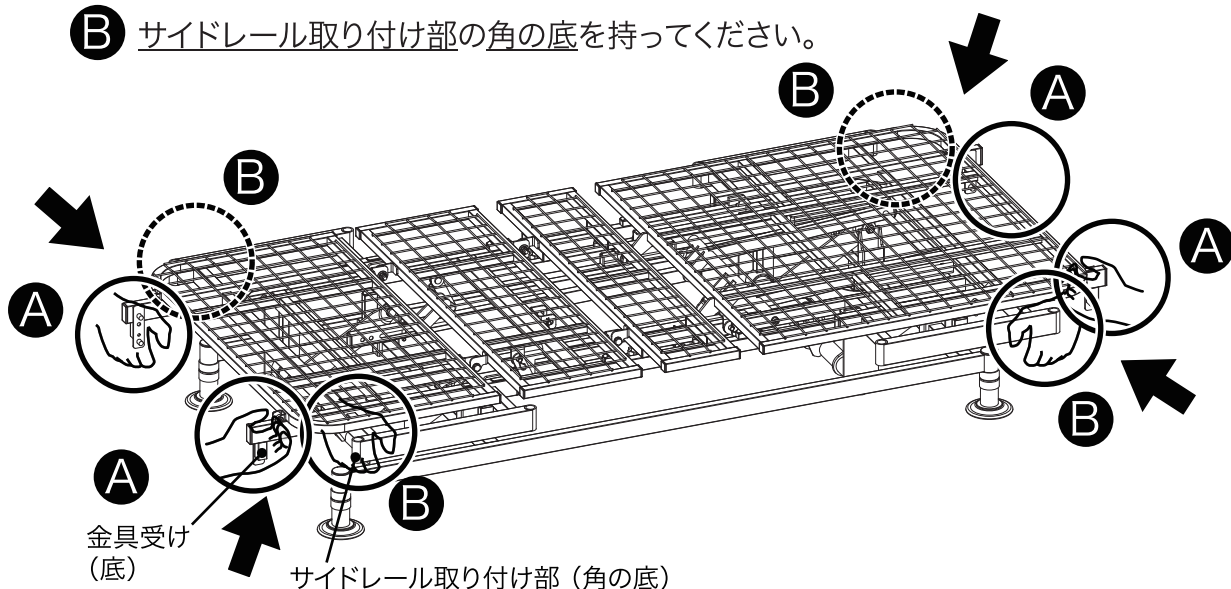
ベッドの移動について

●組立後にベッドを移動する場合は、下記の手順で作業をおこなってください。

1. 作業人員はベッドが重量物(80kg程度)であるため、必ず4人以上でおこなってください。
2. 移動前には必ず、ヘッドボード/フットボード、サイドレール、ベッド用グリップ、マットレス、マットレス止め(脚)などは取りはずしてください。
3. 電源プラグを抜き、ACアダプタや手元スイッチのコード類がひっかからないようにしてください。
4. 人が乗った状態や荷物をのせた状態での移動は、絶対おこなわないでください。
5. 移動前には必ず、センターフレームとベースフレームの連結ピン(17ページ参照。)が確実に取り付けられていることを確認してください。
→ケガ、破損等の原因になることがあります。
6. ベッドを持ち上げる場合は、下図のA、Bの位置を一人が両手で持つようにしてください。

A 金具受けの底を持ってください。

B サイドレール取り付け部の角の底を持ってください。



※ヘッドボード、フットボードのはずしかたは、23ページ「ヘッドボード、フットボードの取り外し」を、マットレス止め(脚)は24ページ「マットレス止めの取り付け」の逆手順、サイドレール、ベッド用グリップは付属の取扱説明書をお読みください。

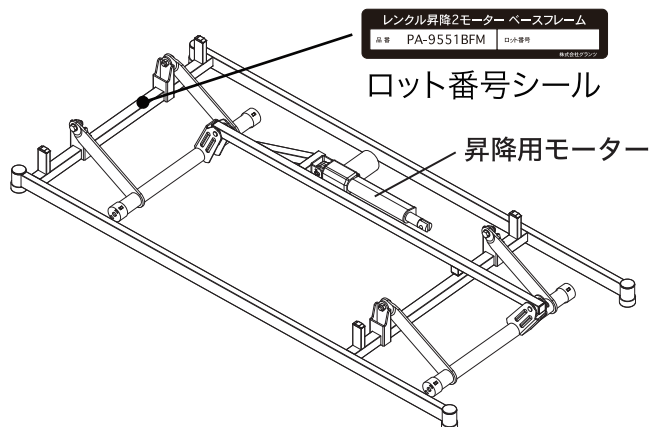
開梱と部品の確認

●開梱後に以下の部品がすべてそろっていること、破損していないことを確認してください。
万一、部品の不足・破損があった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

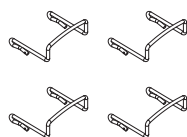
梱包箱
(5-1)

ベースフレーム(PA-9551BFM)

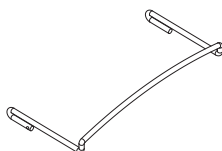
取扱説明書、
保証書(本書)×1
ベースフレーム×1
・昇降用モーター×1



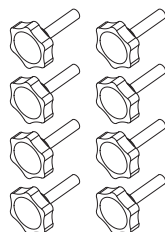
付属品



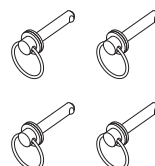
マットレス止め(横)×4



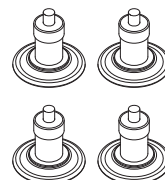
マットレス止め(脚)×1



ノブボルト×8



連結ピン×4

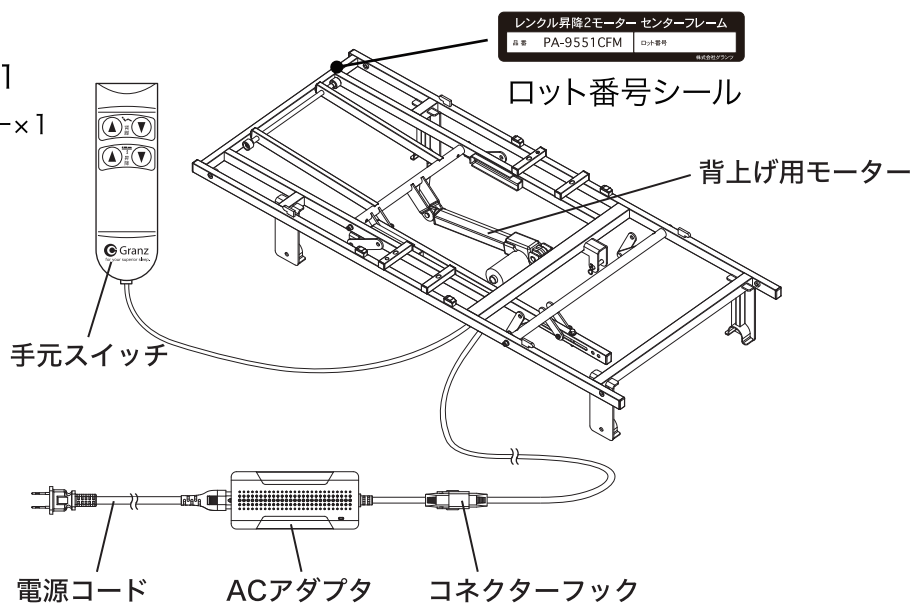


脚座×4

梱包箱
(5-2)

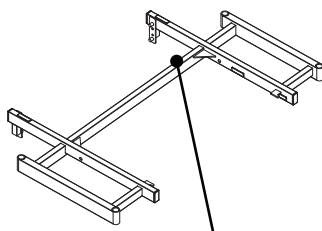
センターフレーム(PA-9551CFM)

センターフレーム×1
・背上げ用モーター×1
・手元スイッチ×1
・ACアダプタ×1
・電源コード×1

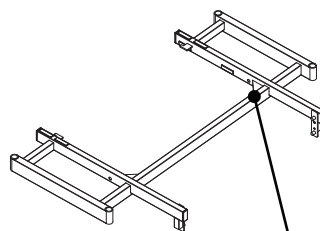


ヘッドフレーム(PA-9551HFM)、フットフレーム(PA-9551FFM)

ヘッドフレーム×1
フットフレーム×1



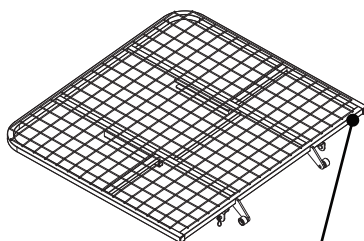
ロット番号シール



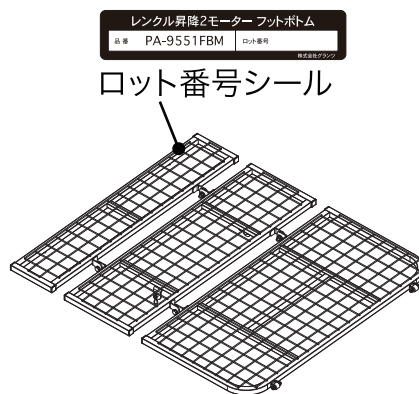
ロット番号シール

ヘッドボトム(PA-9551HBM)、フットボトム(PA-9551FBM)

ヘッドボトム×1
フットボトム×1



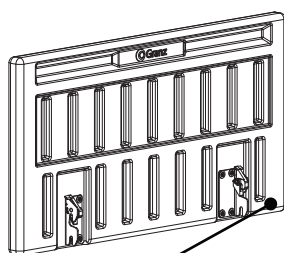
ロット番号シール



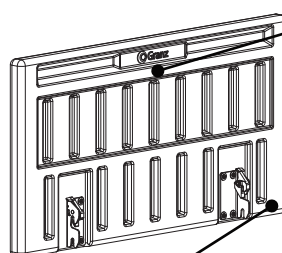
ロット番号シール

ヘッドボード(PA-9551HBD)、フットボード(PA-9551FBD)

ヘッドボード×1
フットボード×1



ロット番号シール



ロット番号シール

警告シール



注意



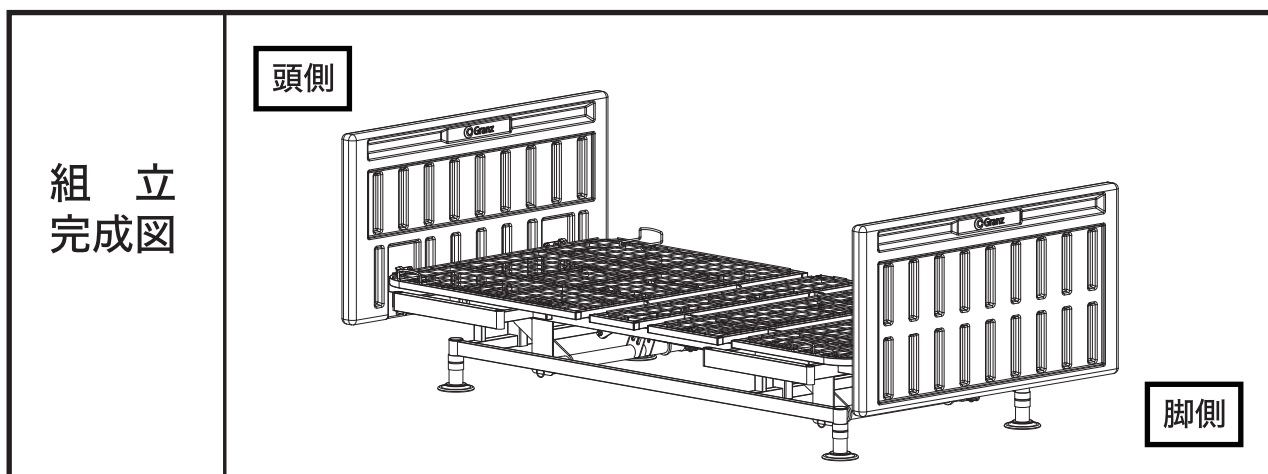
必ず守る

- 開梱にあたり、カッターを使用するときは内部の部品を傷つけないよう注意してください。
また、カッターで手や指を切らないようにしてください。
 - ダンボールの切りはしで指を切るおそれがあるのでご注意ください。
 - ダンボールなどの梱包材の廃棄方法は、地方自治体の規則によって異なります。
お住まいの地方自治体の条例にしたがって処分してください。
- 以上のことを守らないと事故やけがのおそれがあります。

組立手順

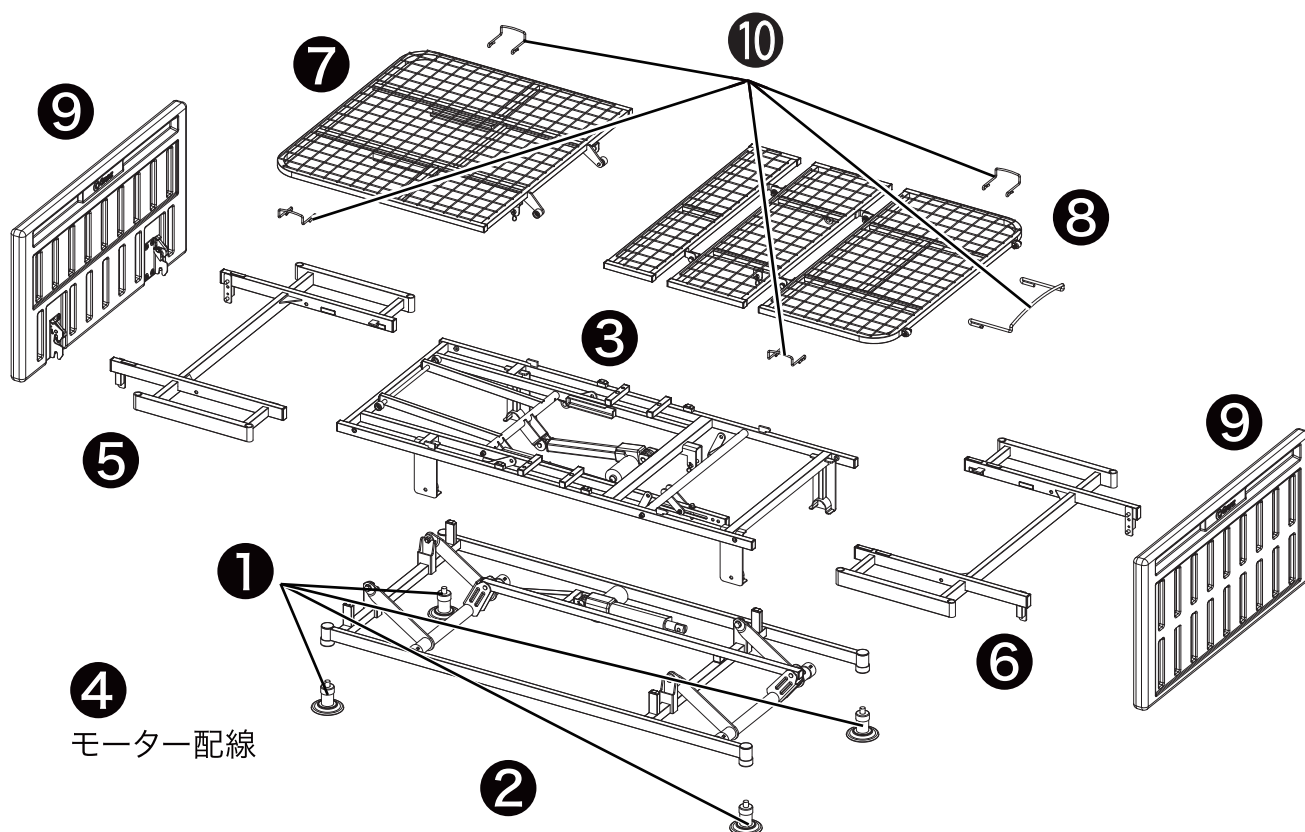
●組立作業は販売店、または専門業者に依頼されることをおすすめします。

 注意	 必ず守る ●重量のあるユニットを組立てたり移動するときは、2人以上でおこなってください。背や腰などを痛めるおそれがあります。 ●組立の際には、部品どうしや部品の可動部で手や指をはさまないように、また、連結ピンやスナップピンの差しこみのときに指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。 ●連結ピンの差しこみおよびノブボルトのねじしめ付けはしっかりとこなってください。また、ピンは、部分によっては差しこむ方向が決められています。逆に差しこむと、けがや破損をするおそれがあります。 ●部品を固定している連結ピンなどをはずすときは部品を手でささえてください。ささえていないと部品が落下し、破損、けがをするおそれがあります。
--	--



●組立手順の概要

- | | | |
|-----------------------------|-------------|-------------------|
| ①脚座等の取り付け | ②ベースフレームの設置 | ③センターフレームの組立 |
| ④モーター配線 | ⑤ヘッドフレームの組立 | ⑥フットフレームの組立 |
| ⑦ヘッドボトムの組立 | ⑧フットボトム組立 | ⑨ヘッドボード、フットボードの組立 |
| ⑩マットレス止め(横)、マットレス止め(脚)の取り付け | | |

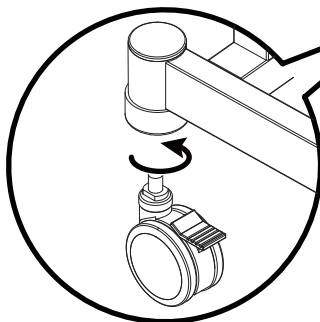


1

脚座等の取り付け

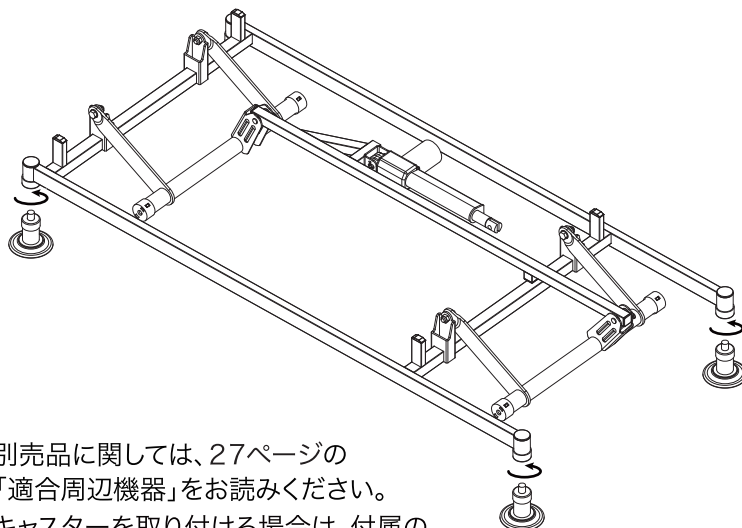
4個の脚座をまわして
取り付けます。

必要に応じて、
・キャスター
を取り付けます。



別売 キャスター

※別売品に関しては、27ページの
「適合周辺機器」をお読みください。
※キャスターを取り付ける場合は、付属の
取扱説明書をよく読んで取り付けと
使用をおこなってください。



2

ベースフレームの設置

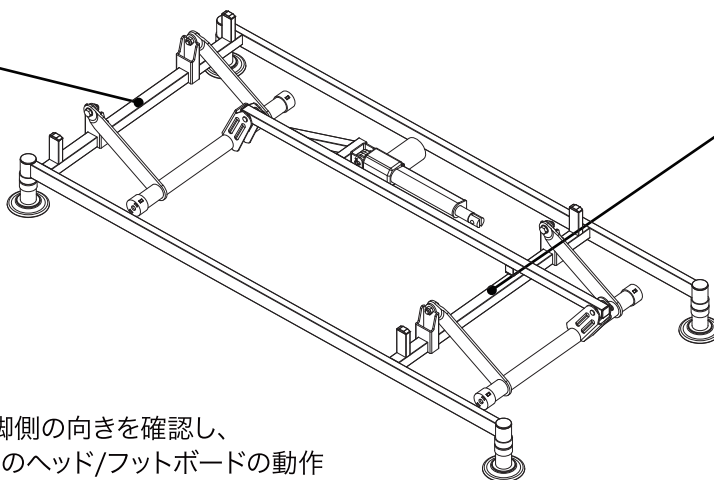
くわしくは、11ページの「ベッドの設置について」をお読みください。

頭側シール

頭側

脚側シール

脚側

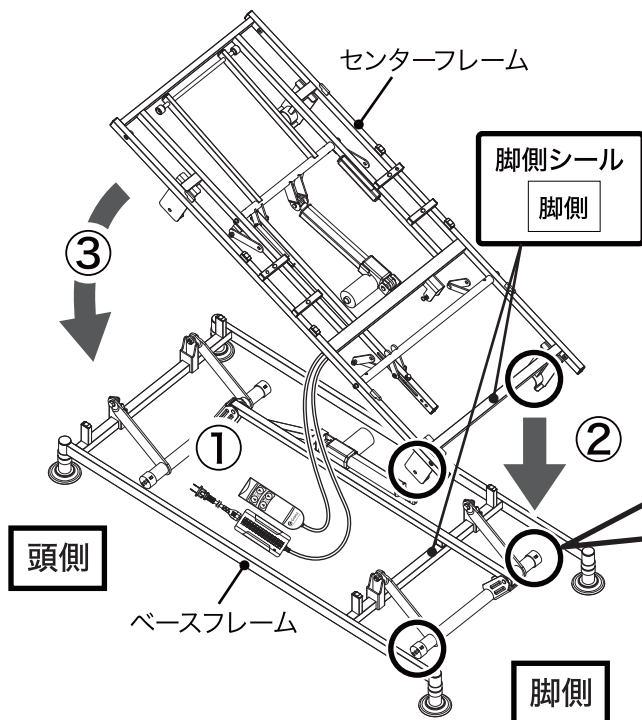


頭側、脚側の向きを確認し、
昇降時のヘッド/フットボードの動作
必ず守る による移動空間を、十分確保してください。

3

センターフレームの組立

ベースフレームにセンターフレームをのせます。

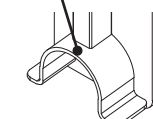


①センターフレームから出ている配線類(リモコン、アダプター、電源コード)をベースフレームの内側に入れます。

②脚側シールを目印にして、ローラー受け2箇所にローラーをはめこみます。

③頭側のローラー受け2箇所にローラーをはめこみます。

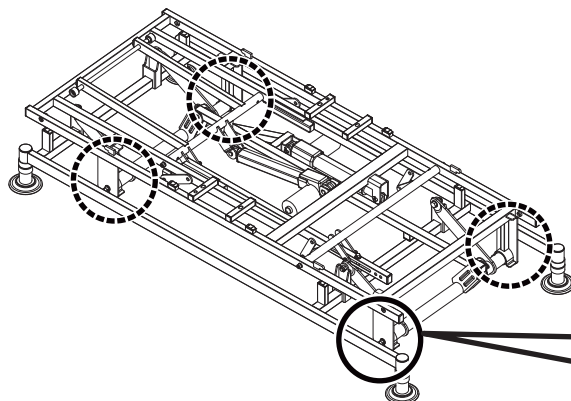
ローラー受け



必ず守る

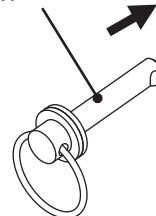
ずれないように
しっかり、はめこみます。

連結ピンで4カ所固定します。

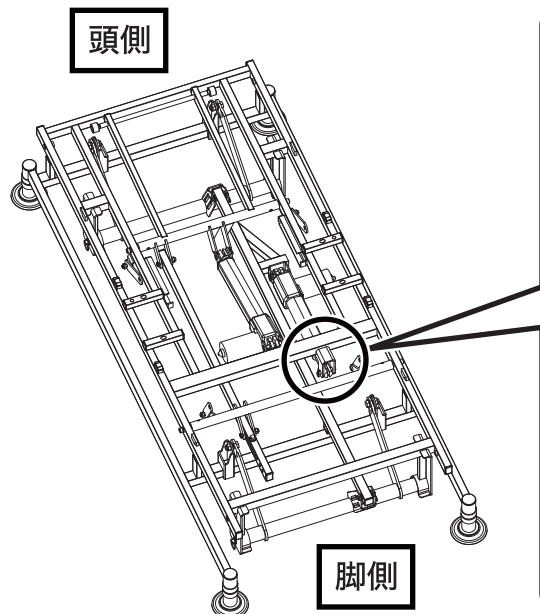


連結ピンを差しこみます。

連結ピン



昇降用モーターをセンターフレームへ連結させます。



センターフレーム

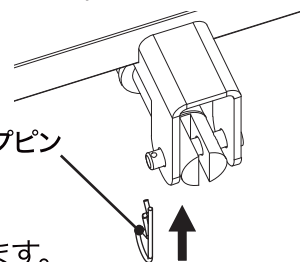
昇降用モーター

連結ピン

①穴位置を合わせて、
連結ピンを差しこみます。

スナップピン

②スナップピンを
差しこみ、固定します。

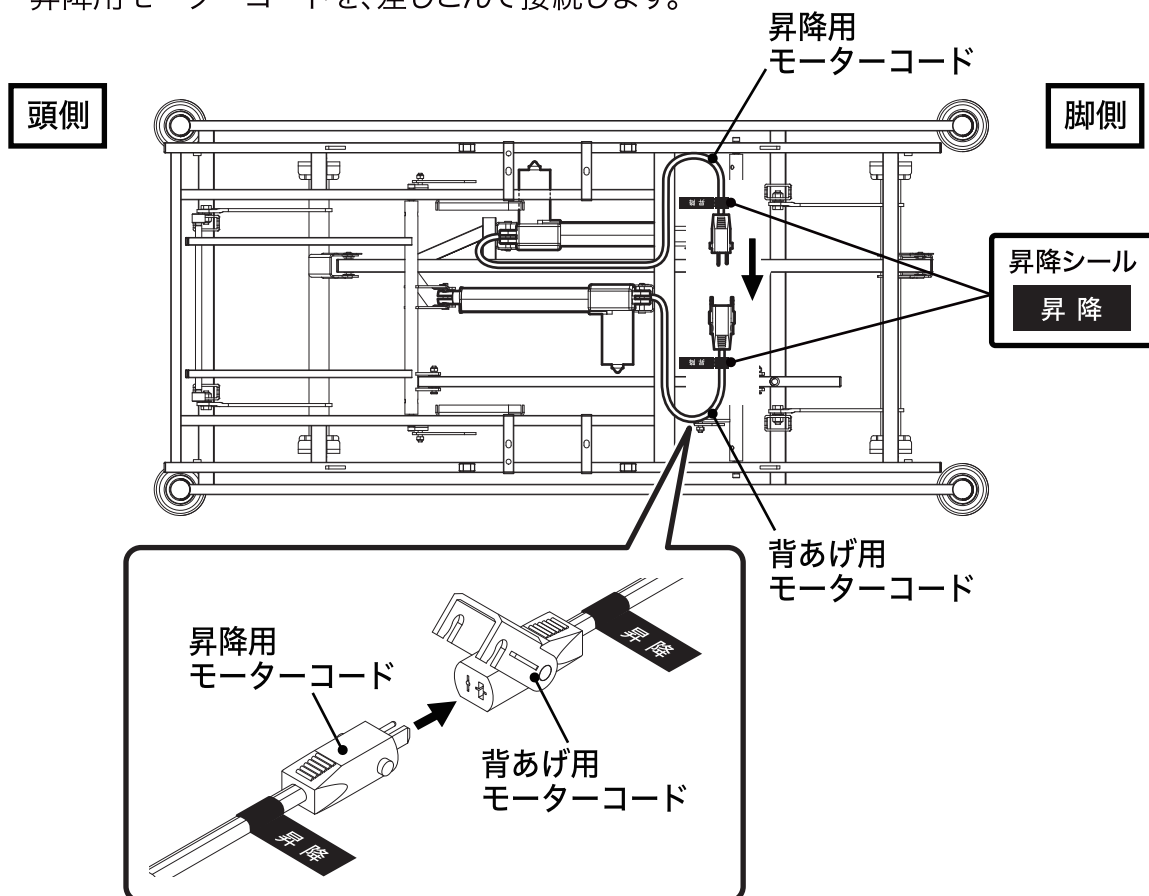




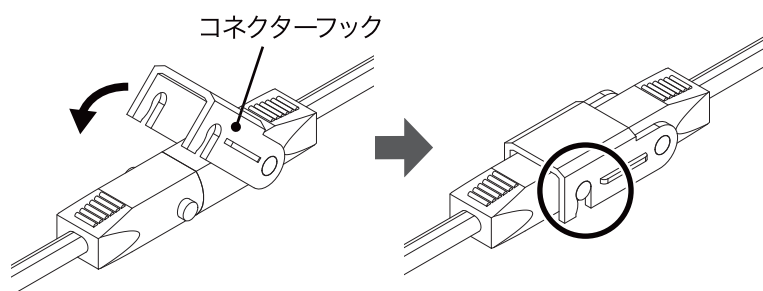
- 配線が完了するまで電源プラグをコンセントに差しこまないでください。
ショートして部品が破損したり、感電のおそれがあります。
- コネクターの差しこみはしっかりとこなってください。
動作不良やショートの原因となります。
- 配線は正確におこなってください。
差しこみ位置を間違えると誤動作や破損の原因となります。
- ケーブルを無理に引っばったり、無理な力を加えないでください。
故障や破損の原因となります。
- 配線が完了して最初に動作させるときは、ケーブルの引っかかりやつっぱりがないか、
また手元スイッチの押したボタンと動作が同じかどうかご確認ください。

昇降用モーターコードを、背あげ用モーターに接続します。

- ①昇降シールを目印にして、背あげ用モーターコードと
昇降用モーターコードを、差しこんで接続します。



- ②コネクターフックを取り付けます。



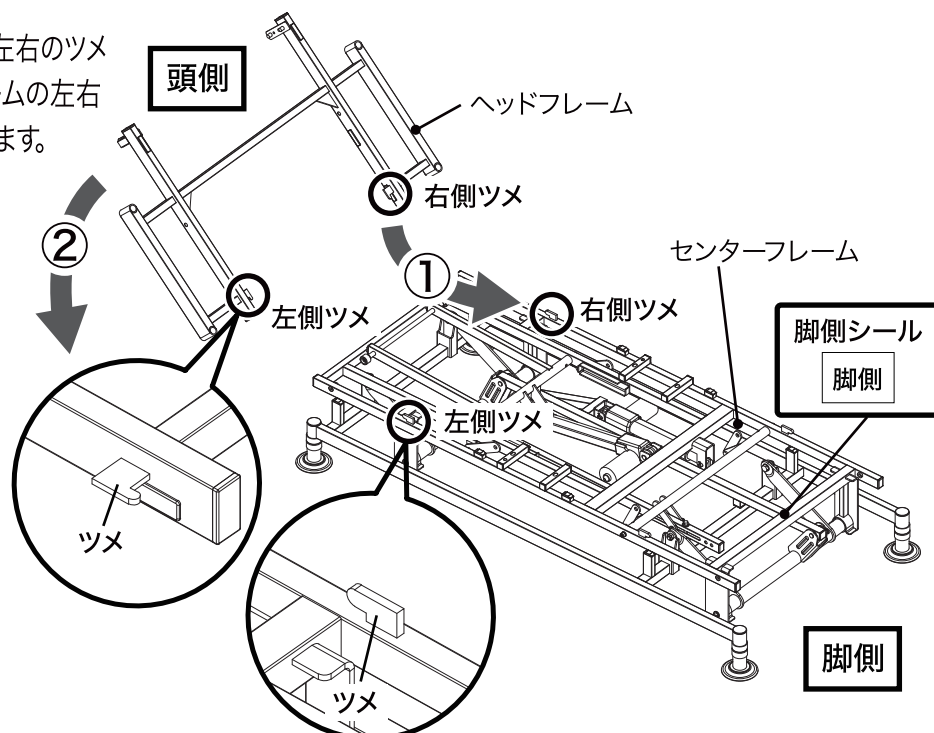
コネクタとコネクタ
フックは、しっかりと取り
付けてください。

5

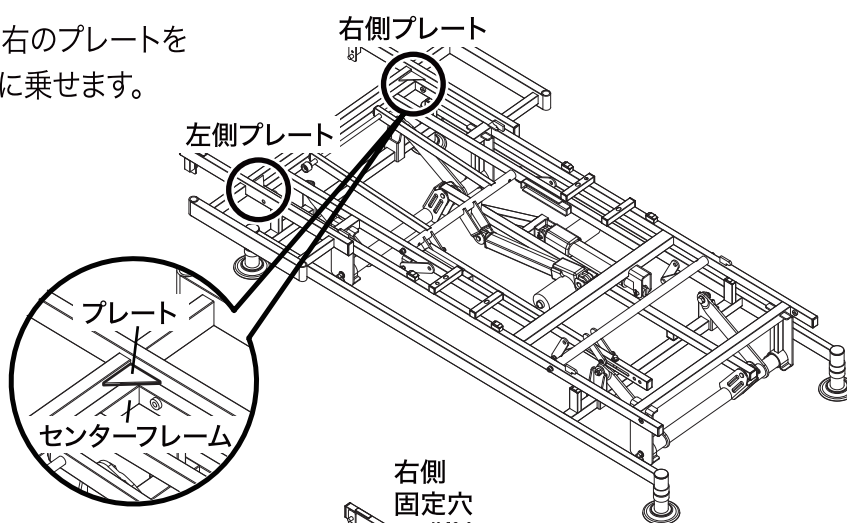
ヘッドフレームの組み立て

ヘッドフレームをセンターフレームに取り付けます。

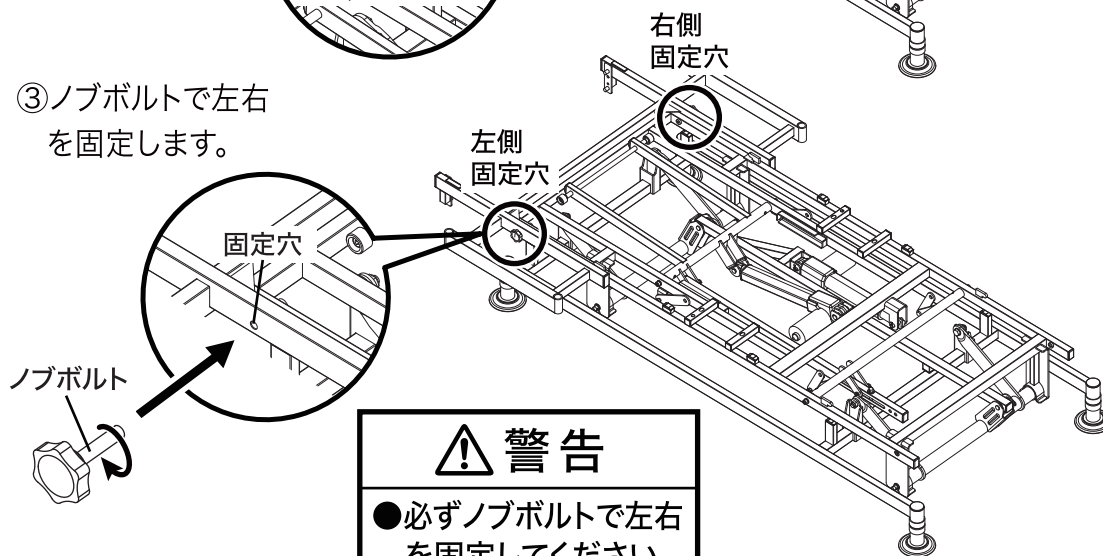
- ①ヘッドフレームの左右のツメを、センターフレームの左右のツメへ引っかけます。



- ②ヘッドフレーム左右のプレートセンターフレームに乗せます。



- ③ノブボルトで左右を固定します。



⚠ 警告

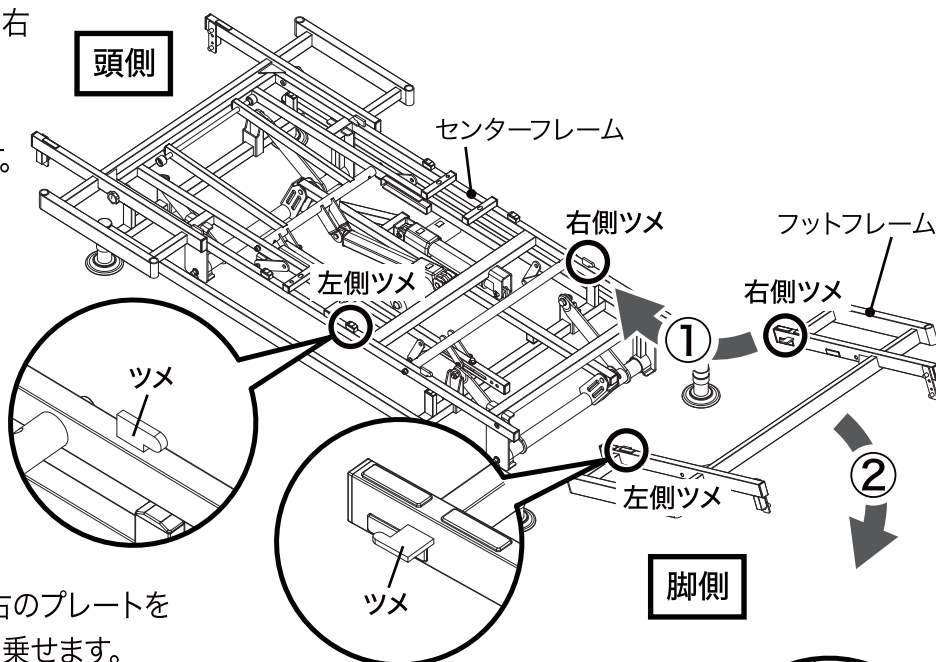
●必ずノブボルトで左右を固定してください。
固定しなかった場合、ベッド使用時にはずれ、転倒やけがをするおそれがあります。

6

フットフレームの組立

フットフレームをセンターフレームに取り付けます。

- ①フットフレームの左右のツメを、センターフレームの左右のツメへ引っかけます。

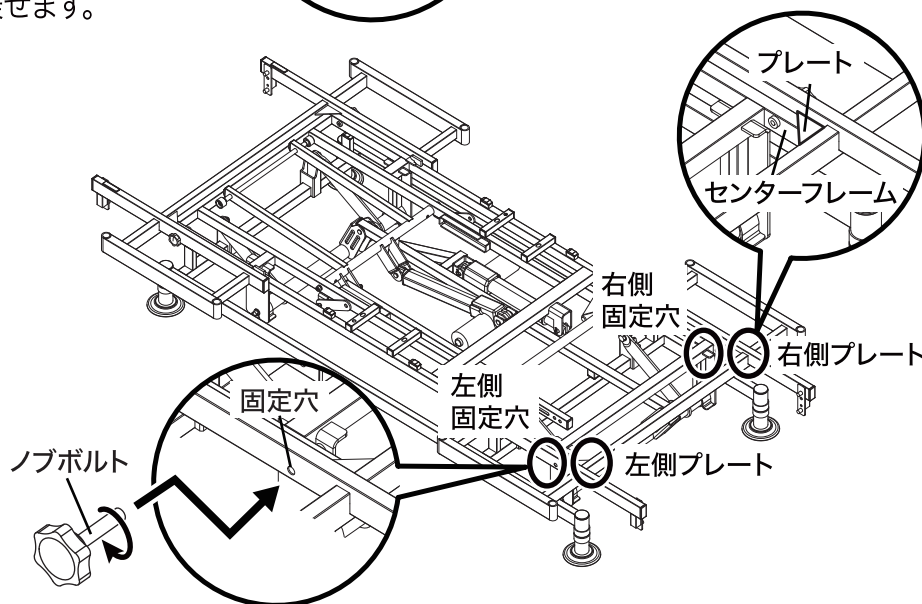


- ②フットフレーム左右のプレートをセンターフレームに乗せます。

- ③ノブボルトで左右を固定します。

警告

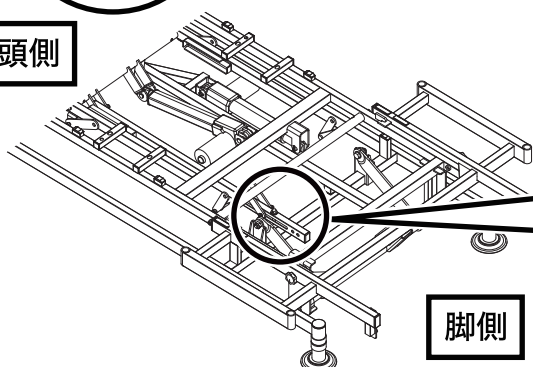
●必ずノブボルトで左右を固定してください。
固定しなかった場合、ベッド使用時にはずれ、転倒やけがをするおそれがあります。



背・脚連動の解除

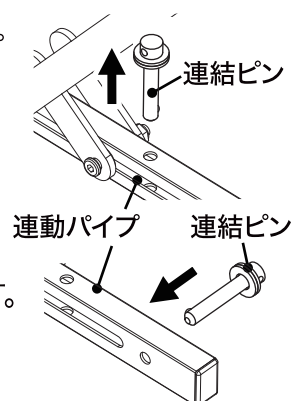
連動パイプのピンを取りはずします。

頭側



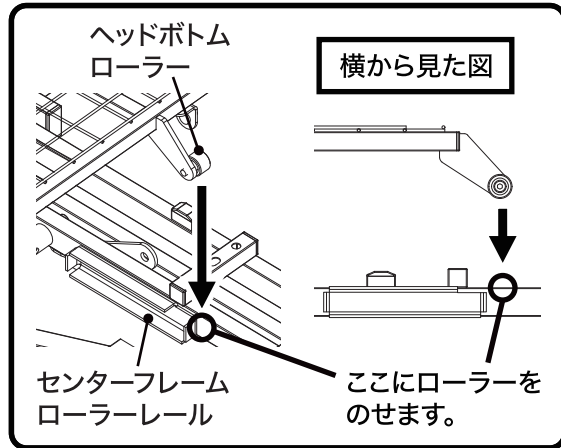
- ①連結ピンを連動パイプから抜きます。

- ②抜いた連結ピンを後方側面の穴に差し込みます。

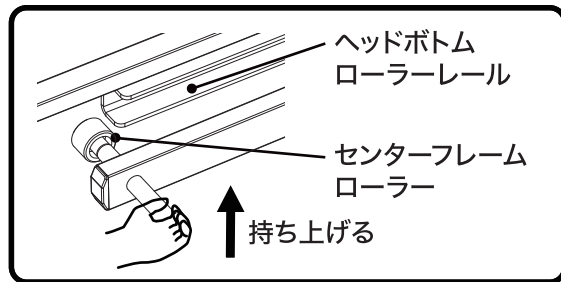


ヘッドボトムをセンターフレームに取り付けます。

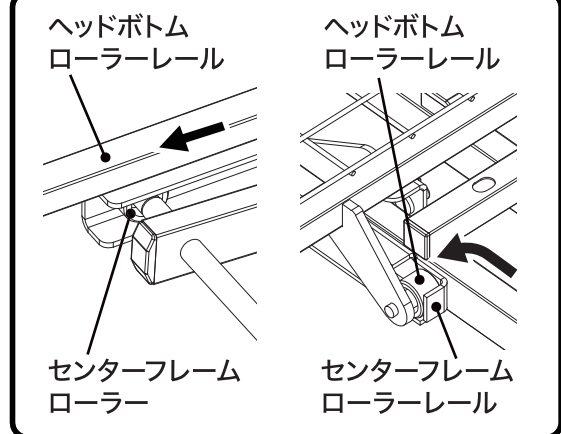
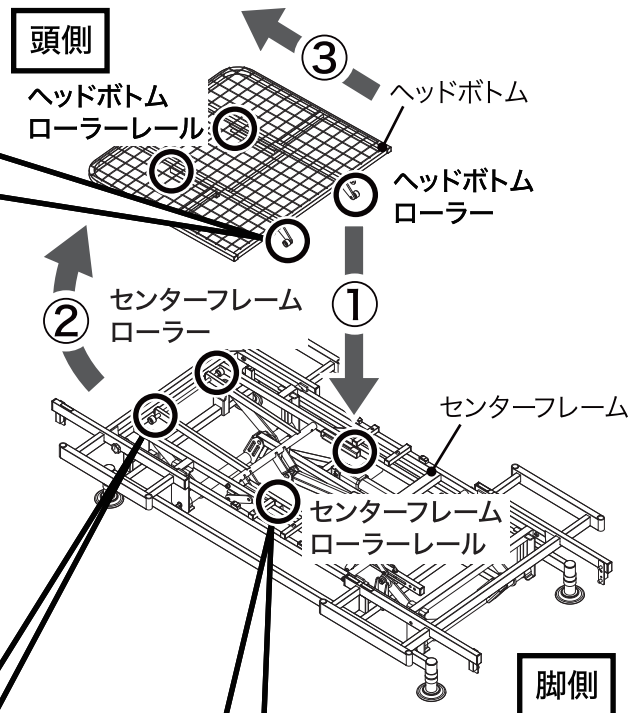
- ①センターフレームの下図の箇所に
ヘッドボトムのローラーをのせます。



- ②センターフレームのローラーを手で
持ち上げます。

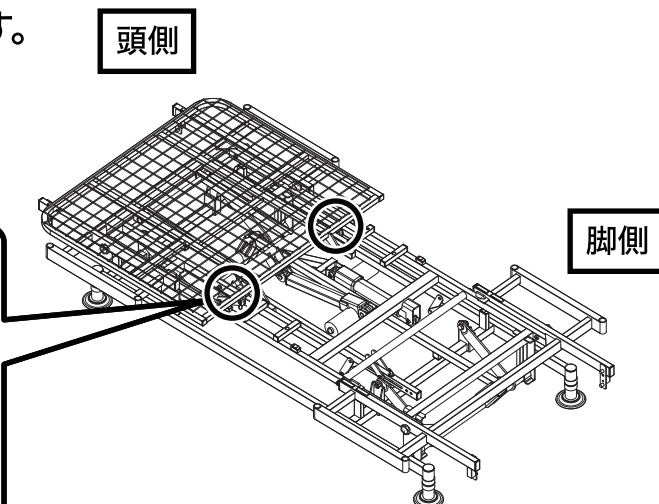
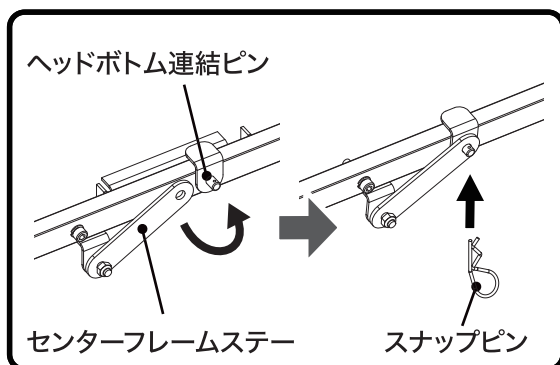


- ③ヘッドボトムを頭側にずらしながら
ヘッドボトムのローラーレール、
センターフレームのローラーレールに
ヘッドボトムのローラー、センター
フレームのローラーを左右同時に入れます。



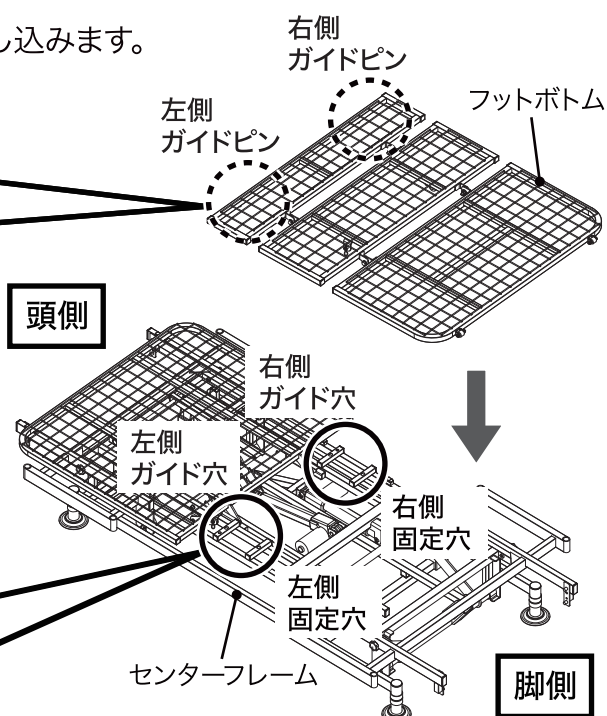
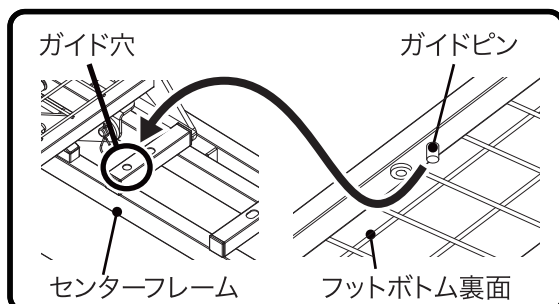
ステーをヘッドボトムへ取り付けます。

センターフレームの左右のステーを
ヘッドボトムの連結ピンに取り付け、
スナップピンで固定します。

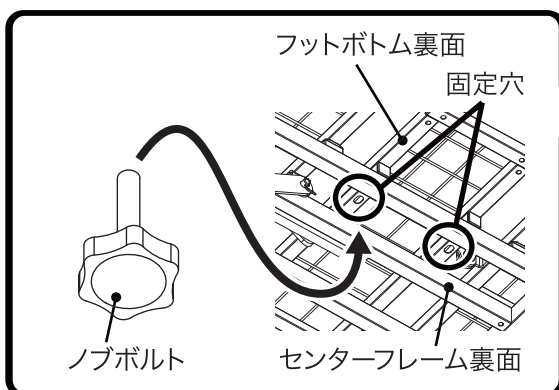


フットボトムとセンターフレームをノブボルトで固定します。

- ①フットボトムの左右のガイドピンを
センターフレームの左右のガイド穴に差し込みます。

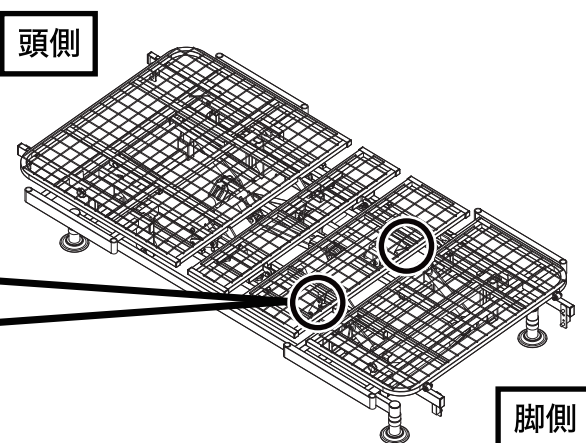
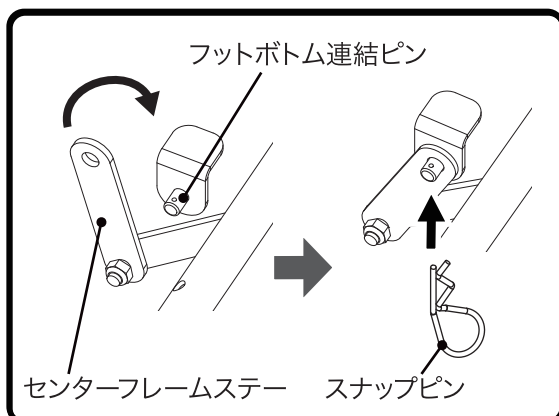


- ②ノブボルトで左右4箇所を固定します。



ステーをヘッドボトムへ取り付けます。

センターフレームの左右のステーを
フットボトムの連結ピンに取り付け、
スナップピンで固定します。

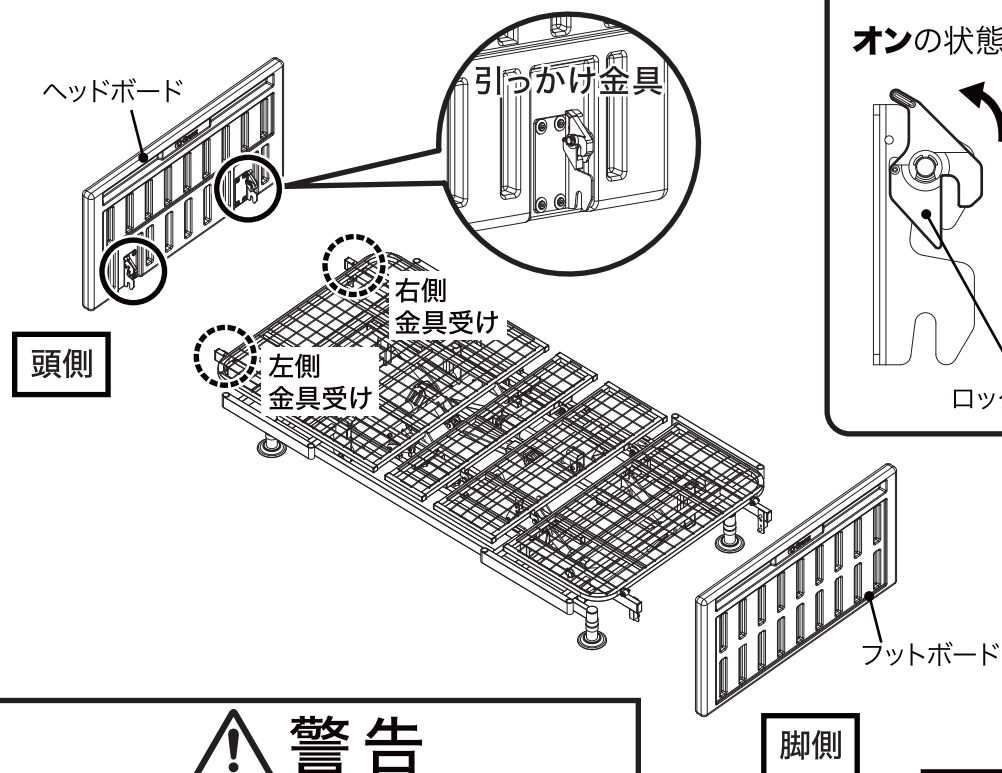


9

ヘッドボード、フットボードの組立

ヘッドボード、フットボードを取り付け、固定します

ヘッドボード、フットボードの引っ掛け金具を、
左右の金具受けへ取り付けます。



警告



必ず守る

- 必ず、ロックバーをオンにしてください。
ヘッドボード、フットボードがはずれて、
けがをするおそれがあります。

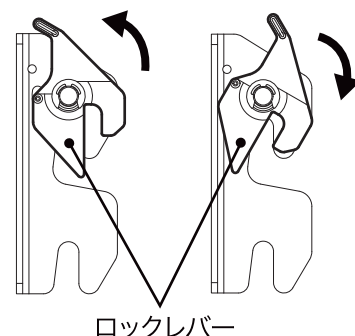


必ず守る

取り付け後、ロック
レバーがオンの状態
になっていることを
確認してください。

オンの状態

オフの状態

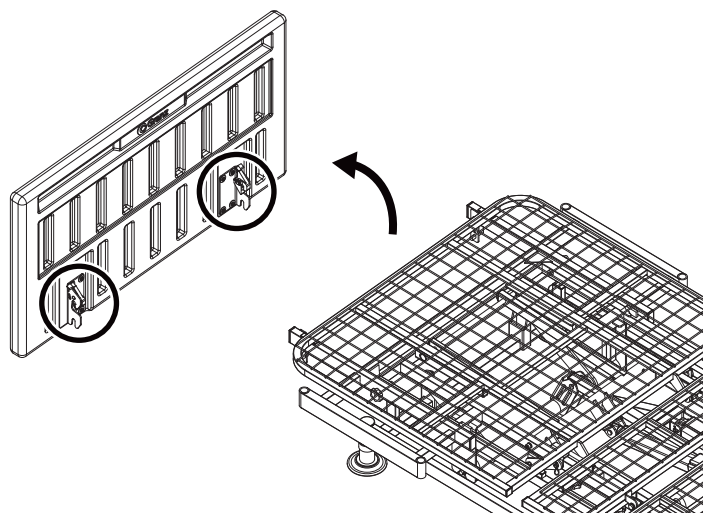


注意

- 警告シールがある方が、
フットボードです。

ヘッドボード、フットボードの取り外し

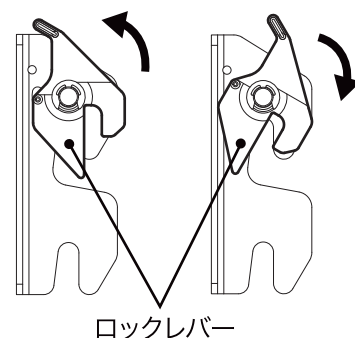
引っ掛け金具のロックレバーをオフの状態にして
ヘッドボード・フットボードを持ち上げると外れます。



ロックレバーがオフの状態に
なっていることを確認してください。

オンの状態

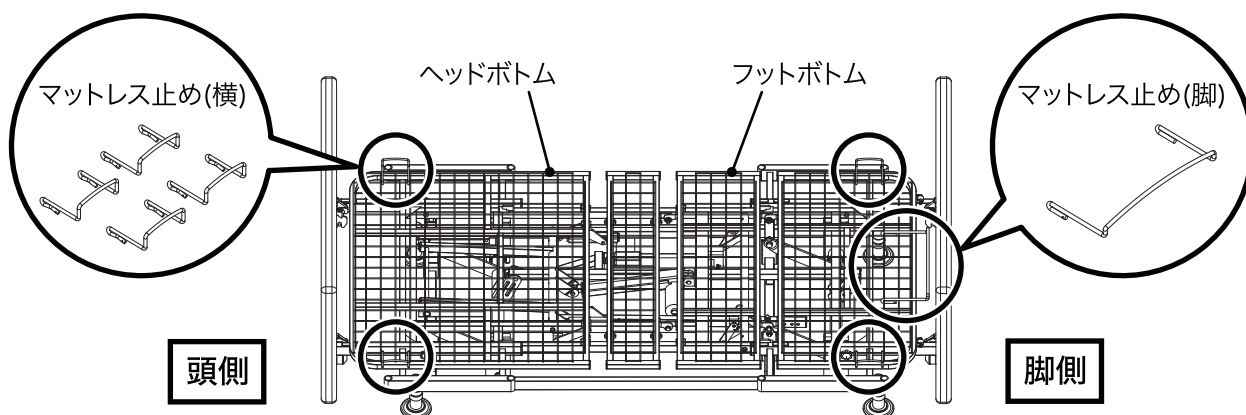
オフの状態



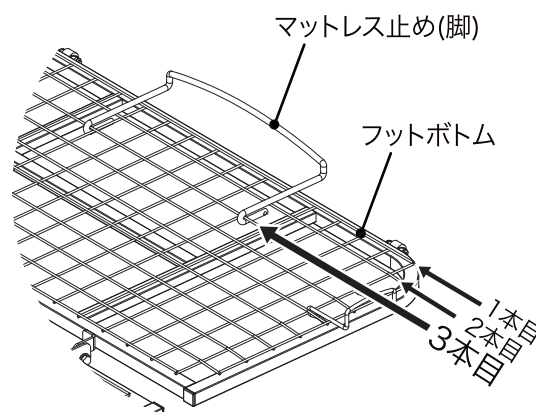
10

マットレス止めの取り付け

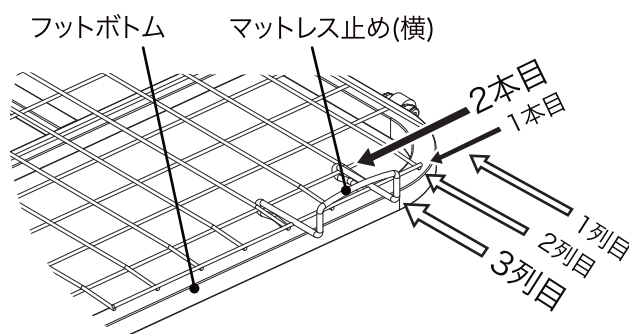
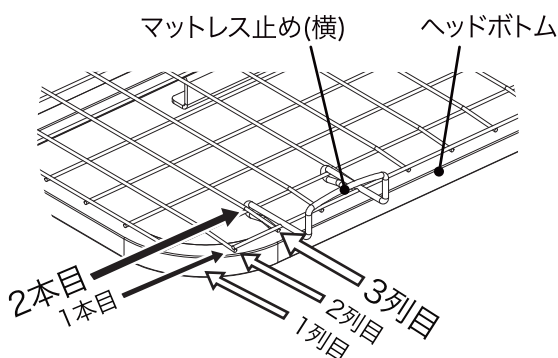
マットレス止め(脚)とマットレス止め(横)を、ヘッドボトム、フットボトムに取り付けます。



- ① マットレス止め(脚)をフットボトムの中央位置になるように3本目のメッシュワイヤーに引っ掛けてください。



- ② マットレス止め(横)をヘッドボトム、フットボトムの端から3列目の2本目のメッシュワイヤーに引っ掛けてください。



⚠ 注意

- マットレス止めは図の位置以外に取り付けしないでください。上図以外の位置に取り付けるとマットレスがずれるおそれがあります。

組立後の点検

- ベッドの組立が終了しましたらベッドに人が乗っていない状態で以下の点検項目を確認してください。また、定期点検のときにも、このリスト使用してください。
(このリストをコピーしてお使いください。)

 注意	 必ず守る	●組立後の点検は必ず実施してください。 組立が不十分な状態で使用するとけがや故障のおそれがあります。
	 禁止	●掃除・点検などでベッドの下に入るときは必ず電源プラグを抜いてください。 誤動作などによりベッドにはさまれ、重大な事故になるおそれがあります。

- 点検作業を実施しているときに異常な音や振動などの不具合が生じたときは、すぐにベッドの使用を中止して販売店までご連絡ください。

1	センターフレームの組立: ローラー受けの連結ピンは、しっかりと差しこまれていますか？ モーターの連結ピンおよびスナップピンは、しっかりと差しこまれていますか？	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	17ページの組立手順③参照。
2	ヘッドフレーム、フットフレームの組立: ノブボルトはしっかりとねじじめされていますか？	☐ はい ☐ いいえ	19,20ページの組立手順⑤、⑥参照。
3	ヘッドボトム of 組立: スターの連結ピンおよびスナップピンは、しっかりと差しこまれていますか？	☐ はい ☐ いいえ	21ページの組立手順⑦参照。
4	フットボトムの組立: ノブボルトはしっかりとねじじめされていますか？ スターの連結ピンおよびスナップピンは、しっかりと差しこまれていますか？	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	22ページの組立手順⑧参照。
5	ヘッドボード、フットボードボトムの組立: 引っかけ金具がしっかりと差し込まれ、ロックレバーはオンの状態になっていますか？	☐ はい ☐ いいえ	23ページの組立手順⑨参照。
6	マットレス止めの取り付け: マットレス止め(横)とマットレス止め(脚)は指定の位置に取り付けられていますか？	☐ はい ☐ いいえ	24ページの組立手順⑩参照。
7	電源: 電源プラグをコンセントに差しこんだときにACアダプタの通電ランプは緑色に点灯していますか？	☐ はい ☐ いいえ	
8	使用方法: 手元スイッチ(リモコン)のボタンを押すと、高さ、背あげ脚あげは正しくスムーズに動作しますか？	☐ はい ☐ いいえ	7ページの「手元スイッチの使い方」参照。
9	各モーターの動作音: モーターを動かしたときの音に異常はありませんか？	☐ はい ☐ いいえ	
10	配線の確認: ケーブルがフレームや可動部にはさまれたり、引っかかりたりしていませんか？	☐ はい ☐ いいえ	

分解手順

- 分解作業は販売店、または専門業者に依頼されることをおすすめします。

 注意	 必ず守る	●重量のあるユニットを分解したり移動するときは、2人以上でおこなってください。背や腰などを痛めるおそれがあります。
	 必ず守る	●分解の際には部品どうしや部品の可動部で手や指をはさまないように、また、ピンやスナップピンの抜き差しのときに指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
	 禁止	●分解の前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ショートして部品が破損したり、感電のおそれがあります。

1. ベッドの高さは、手元スイッチの操作にて、1 番下まで下げた状態にしてください。
→ベースフレームからセンターフレームが取りはずせなくなります。

2. 分解の手順は以下のとおり、組立手順の逆でおこないます。

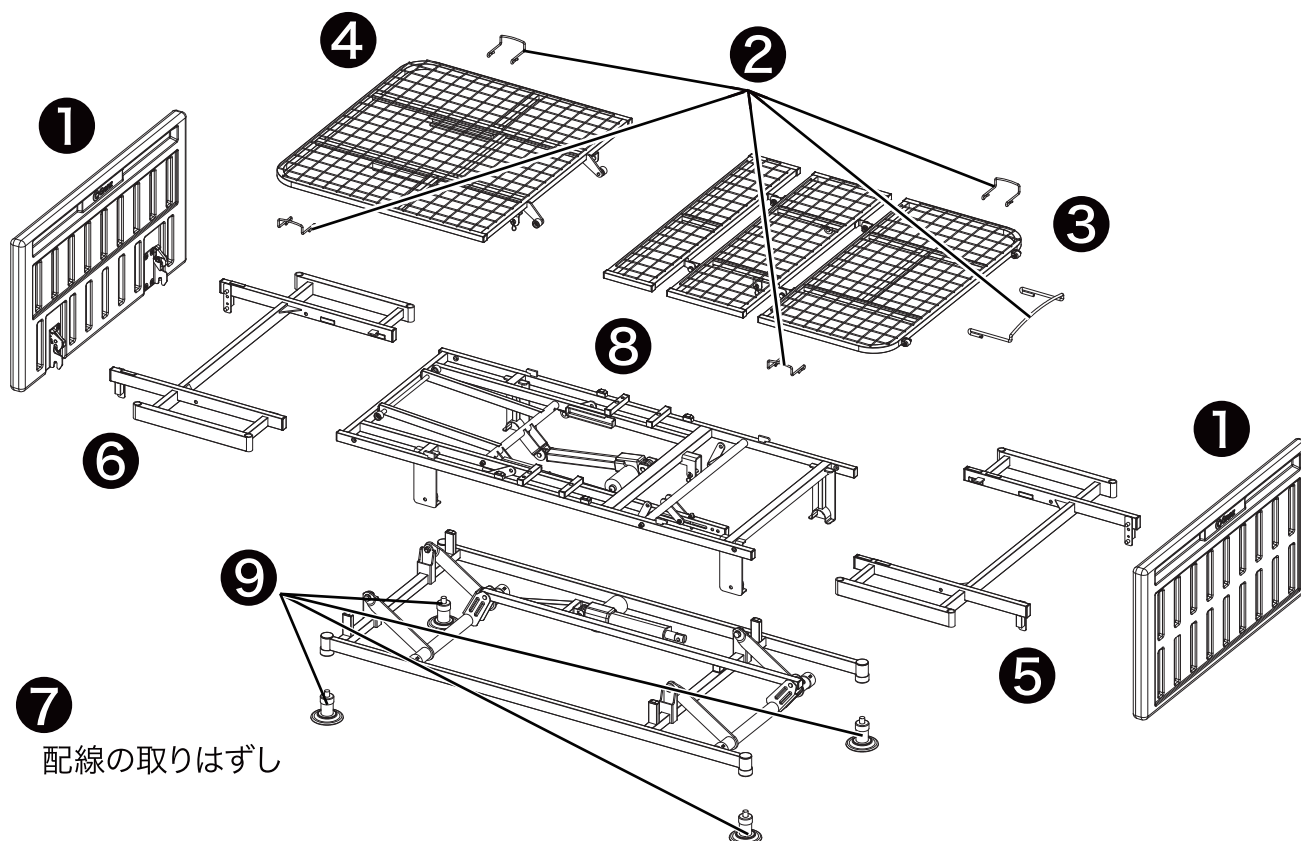
16 ページからの組立手順の各項目を参照し、逆の手順にて分解してください。

※取りはずした連結ピン、スナップピン、ノブボルトはなくさないようにしてください。

●分解手順の概要

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ①ヘッドボード、フットボードの取りはずし | ②マットレス止め(横)、(脚)の取りはずし |
| ③フットボトムの取りはずし | ④ヘッドボトムの取りはずし |
| ⑤フットフレームの取りはずし | ⑥ヘッドフレームの取りはずし |
| ⑦配線の取りはずし | ⑧センターフレームの取りはずし |
| ⑨脚座の取りはずし | |

※脚座の角は薄いため、破損しやすくなっております。分解移動する際は取りはずしをおすすめいたします。



仕様

品名	レンクル 昇降2モーターベッド	
品番	PA-9551	
定格電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	110W (安全使用荷重負荷時)	
安全使用荷重	1700N(約174kg) (最大使用者体重138Kg)	
質量	76kg	
動作	高さ	28~60cm(床からボトム面までの高さ)
	背あげ	0~70°
	脚あげ	0~20°
主な材質	ベースフレーム、センターフレーム、ヘッドフレーム フットフレーム、ヘッドボトム、フットボトム : スチール、樹脂 ヘッドボード、フットボード : ポリエチレン樹脂、スチール	
生産国	中国	
ベッド寸法 (単位=cm)		

※この「取扱説明書」に記載されている数値には多少の誤差が含まれています。表記を見やすくするため、約、およそ、といった言葉を省略しています。

適合周辺機器

 警告	 必ず守る	●適合周辺機器に明記されたもの以外は使用しないでください。 意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などによりけがのおそれがあります。
		●必ず適合周辺機器の取扱説明書または注意書きをお読みください。 誤動作などによりベッドにはさまれ、重大な事故になるおそれがあります。

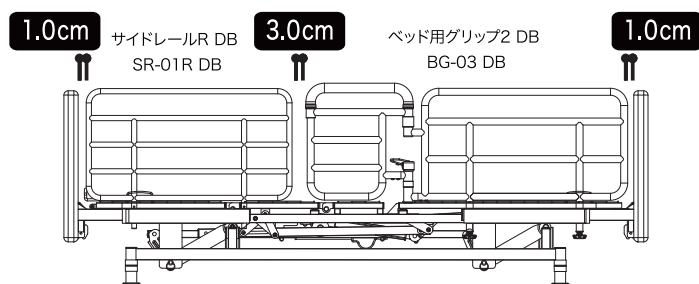
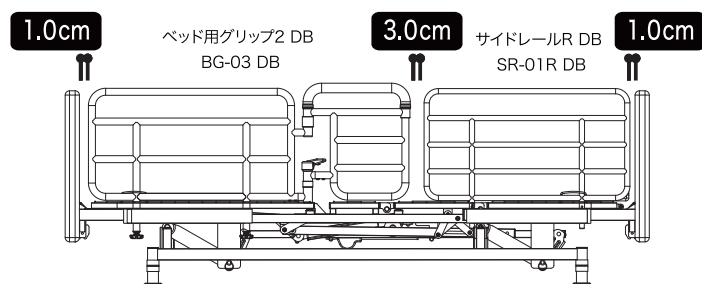
サイドレール	サイドレールR DB SR-01R DB
ベッド用グリップ	ベッド用グリップ2 DB BG-03 DB
マットレス	適合マットレス：オーイーダブルマットレス MT-02 ウレタンマットレス MT-09 サイズ：幅91cm×長さ191×厚さ8cm もしくは下記サイズ、質量を満たすもの サイズ：幅88~91cm×長さ191~195cm 厚さ：最大厚15cm以下、最小厚7cm以上 質量：19kg以下
キャスター	キャスター CS-03

※仕様変更・追加などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
不明な点がありましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

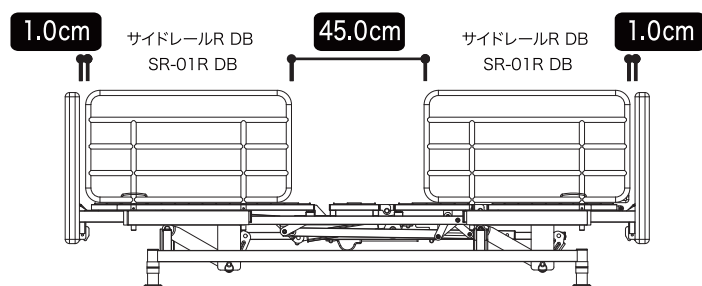
サイドレール、ベッド用グリップの組み合わせ

正しい組み合わせ

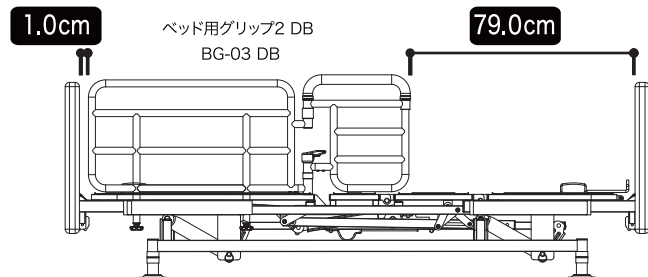
●ベッド用グリップとサイドレールの組み合わせ時のすき間



●サイドレールどうしの組み合わせ時のすき間

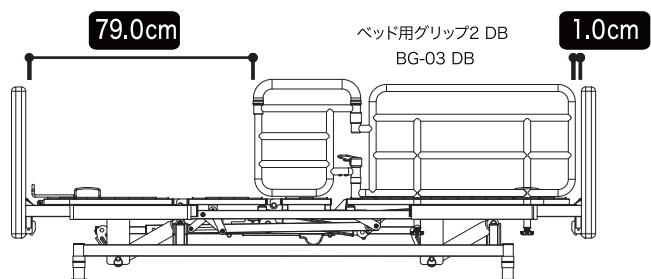
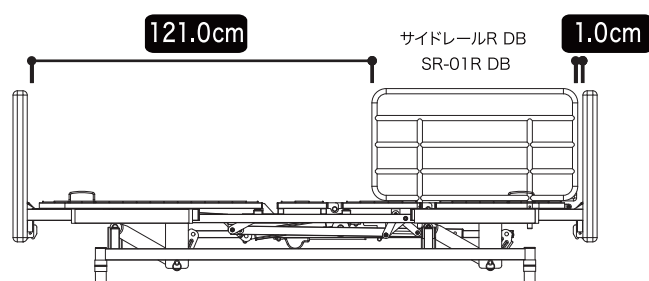
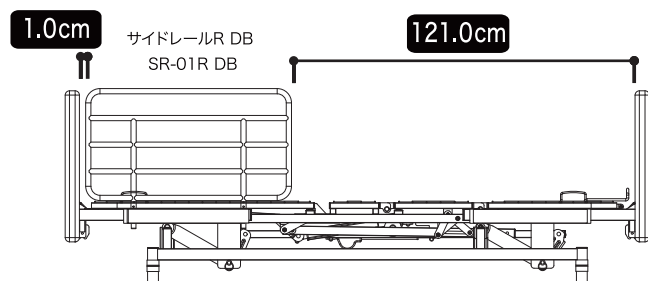


●ベッド用グリップ使用時のすき間



誤った組み合わせ

下記の誤った組み合わせでご使用になると、意図せぬ隙間の発生によりけがをする恐れがあります。



保証とアフターサービス

1.保証書

保証書は必ず『販売店名・お買い上げ日』などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より2年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品名・品番・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、お買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

取扱説明書の9ページ「故障かな?と思ったら」にしたがって調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

- 品名・品番
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容 (できるだけくわしく)
- お名前・ご住所・お電話番号

■消耗部品について

- 手元スイッチは消耗部品です。

【保証期間内は】

保証書の明記内容にもとづき、無償で修理いたします。ただし保証期間内でも修理が有償になる場合があります。くわしくは保証書をご覧ください。

【保証期間が過ぎているときは】

修理によって使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

商品品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点がございましたらお買い上げ販売店または下記までご連絡ください。

株式会社 グランツ

営業時間 : 平日9:00~18:00(土曜日のみ17:00迄)
休業 : 日曜・祝日・第2.3.4.5土曜日
〒573-0024 大阪府枚方市田宮本町14-10

フリーダイヤル

 **0120-930287**

メモ



保証書

販売店の方へのお願い

お買い上げ日および貴店のお名前、ご住所、お電話番号を必ずご記入ご捺印した上で、お客様にお渡しください。

品 名 (品 番)	レンクル 昇降2モーターベッド(PA-9551)
保 証 期 間	お買い上げ日より2年間
お 買 い 上 げ 日	年 月 日

お客様

お 名 前	様
ご 住 所	〒 ()

販売店

店 名	
住 所	〒 ()

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書・本製品注意シール等に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。その際には必ず本書をご提示ください。弊社からの出張修理の場合には、別途費用(旅費・技術料)をご負担いただきます。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送・移動時の落下・衝撃などによるお取り扱いが不適当なため生じた故障および損傷。
 - 火災・地震・風水害・落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - ご使用にともなう傷・汚れ等の経年変化および消耗品の交換。
 - 本書にお買い上げ年月日・販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 ●This warranty is valid only in Japan.
本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は本書をもとにした期間、条件において無償修理をお約束するものです。
したがってこの保証書により、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

株式会社 グランツ

〒573-0024 大阪府枚方市田宮本町14-10